

層雲峡ビジターセンター



【幹を逆さまに下りるエゾモモンガ/12月層雲峡】

エゾモモンガ

日が落ち、辺りが薄暗くなり始めた頃、突然「バフツ」と何かがぶつかるような音がした。振り向くと、ハンカチぐらいの小さな動物がトドマツの幹にへばりつき、こちらを見ている。エゾモモンガだ。それも1匹だけではなく数匹がいる。

エゾモモンガは夏の間はほとんどが単独で生活しているが、冬は条件の良い巣穴を見つけると、集団で共同生活をする。一つの穴に5～6匹のモモンガがいることもある。ひとつ穴の中、仲良く丸くなって暖め合うのが、エゾモモンガ流の冬の過ごし方のようなのだ。



【エゾモモンガが食べたトドマツの葉】

山の奥



子ビターニュース

2008-12-25(木) NO. 34

発行/子ビター編集部

年末年始休館日
の本しらせ
12月31日～1月5日

今回の子ビターおは。

シマエナガ
です。



「アッコちゃんです。」

上川町内で確認された
珍鳥ヤツガシラ

10月29日、上川町新光町の住宅地に、道内でも数少ない旅鳥のヤツガシラが飛来しました。主にユーラシア、アフリカなどに広く分布し、北海道にはまれにやってくるが、観察例は少なく、上川町での観察記録は初めてのことです。

アニマルトラッキングのすすめ

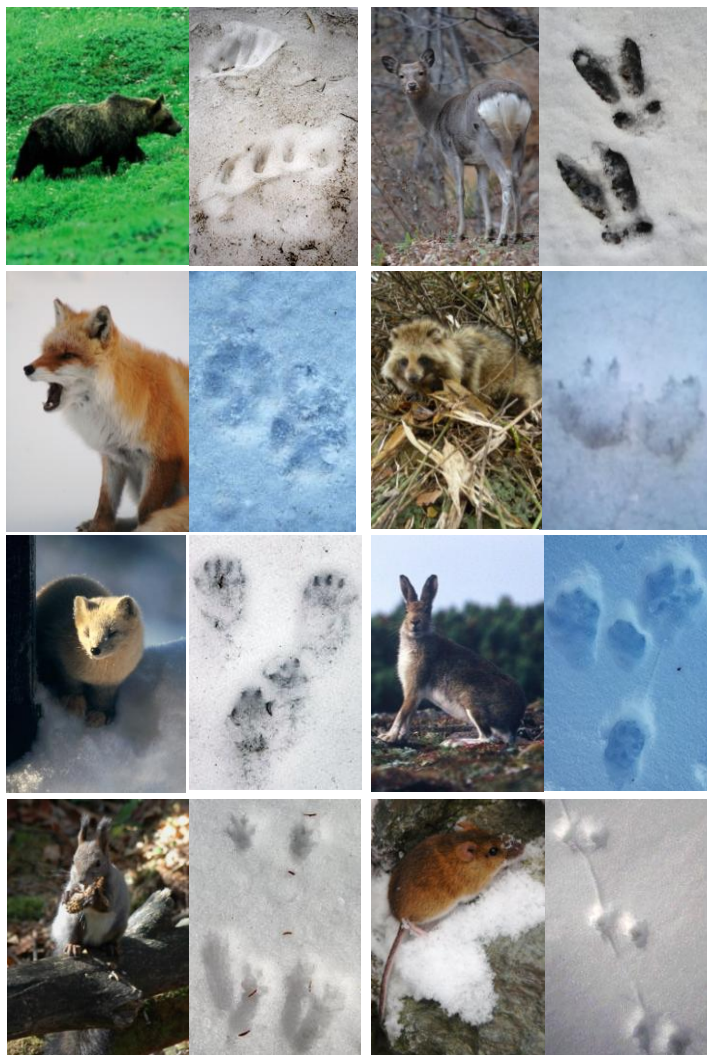
残念なことには、よほどの達人でもない限り、私たちホモサピエンスの臭覚では、目に見えない動物たちの足跡を追いかけることはできません。けれど雪に覆われる冬は、

彼らの足跡がしっかりと雪面にプリントされ、そこにいたという証を容易に見つけることができます。

その足跡を辿り、足跡、糞や食事痕から、彼らがどんな行動をとっているのか探ること

とをアニマルトラッキングといえます。痕跡は動物の暮らしをありのままに映します。隠れ上手な彼らの存在を身近に感じ、わくわくする、それこそアニマルトラッキングの面白さではないでしょうか。

白さではないでしょうか。



【足跡ずかん】～大雪山周辺の足跡いろいろ

(左上から)ヒグマ(人の足跡と思ったら・・・)、エゾシカ(!!)キタキツネ(さすらいのトレイル)、エゾタヌキ(雪歩きは苦手デス)、エゾクロテン(テンテンと)、エゾユキウサギ(T字型)、エゾリス(連続跳び箱飛び)、アカネズミ(長いしっぽの跡が)



【ヤツガシラ / 漢字名: 八頭、戴勝など】

冠羽を立てているところ

(撮影/福屋隆則さん)

頭部の橙褐色をした大きな冠羽が特徴的で、興奮すると扇状に立てます。長くちばしは土壌中に隠れた虫を捕らえるのに都合がよく、おなかをすかせた珍客は、数日のあいだ頻りに周辺の畑にやってきては、長くちばしを土壌に差し込み虫を啄ばんでいたそうです。

木のたね

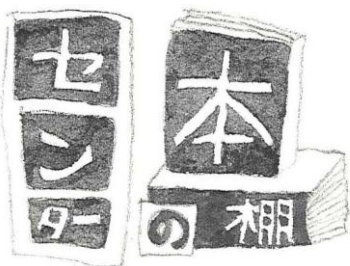
紅葉谷をあるく～冬の巻

冬の森はまるで実験室。厳しい寒さゆえ出会える不思議がたくさんあります。今回は紅葉谷散策路を紹介します。

- ①黒岳山腹から流れる伏流水。北海道の名水。
- ②む～んと漂うエゾシカの糞香と体臭。層雲峡温泉の源泉湧出口が20以上もあって、地熱が温かいとエゾシカたち。今日も地熱浴ですか～？
- ③クマゲラ生息地。枯れ木に空けられた食痕穴を観察できる。
- ④なんでオンコ岩？「オンコ」はイチイの木のこと。苔むす大岩の上を見上げると、オンコが根を張っていました。
- ⑤コースの終点は紅葉滝。1月になると氷の滝に変身。



観察講座スノーシュートレッキングでご案内します！



エゾオオカミ物語

作 あべ弘士 / 講談社

「センターの本棚」は身近な自然にふれる本を紹介しています。図書は館内で閲覧できます。



100年以上前の北海道には、手つかずの原始林が広がり、そこには多種多様な生き物が暮らしていた。かつては、エゾオオカミもヒグマと共にこの大地に生息し、生物相の頂点に立っていた。しかし、この豊かな大地も、明治に入ると本格的な開拓が進み、本州からたくさん人間がやってきた。森や草原は農地になり、オオカミの生息域は徐々に狭められていった。そして、1896年を境に、駆除されついに絶滅してしまう。

オオカミのいない今、エゾシカは増えつづけている。人為的な影響を受けた自然は、バランスを崩し、急速に失われていく。エゾオオカミの遠ぼえは、もう聞こえてこない。



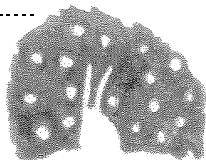
■ スノーシュートレッキング ～冬の森の観察会

【日時】 1月10、11、24、25
2月14、15、28、3月1日(土日)
/9:30~12:00

【定員】 7名

【内容】 スノーシューを履いて冬の森に出かけます。
コースは紅葉谷や大函など層雲峡周辺。
(★スノーシュー無料貸し出しあり)

■ アニマルトラッキング



【日時】 2月8日(日) /9:30~12:00
【場所】 天幕沢周辺の森(陸万ドライブイン前集合)
【定員】 15名
【内容】 動物の食痕や足跡など、様々なサインを観察しながら、動物たちの行動を読み解いてみます。
(★スノーシュー無料貸し出しあり)

★★観察会は事前申し込みが必要です★★
★★詳細についてはお問合せください★★

発行:大雪山国立公園
Tel 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401
HP アドレス <http://sounkyovc.town.kamikawa.hokkaido.jp/>
開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料
11月~ 5月/9:00~17:00月休
(祝祭日翌日)、年末年始休館日 12月31日~1月5日



【日時】 1/24(土)~2/3(火)
13:30~15:30

【場所】 レクチャールーム

【定員】 参加自由・無料

【内容】 切り絵で花や動物をつくります
♪♪ミニ上映会もあります♪♪



11/1 ヤツガシラ(上)、11/2 キレンジャク(上)、11/5 アカゲラ(層)、11/11クマゲラ(上)、11/13ギンザンマシコ(黒)、11/16 キタキツネ(層)、11/17 エゾユキウサギ(層)、11/18シメ・ギンザンマシコ(上)、11/19 オジロワシ(層)、11/23 オオワシ(層)、11/24 ベニヒワ(上)、11/25 最低気温-20℃(層)、11/26 ホシガラス・ギンザンマシコ(黒)、11/27 コゲラ・ゴジュウカラ(層)、11/30 オジロワシ(上)、12/1 コゲラ・ギンザンマシコ(上)、12/2 エゾシカ・アカネズミ(層)、12/3 エゾモモンガ(層)、12/8 クマゲラ・オジロワシ(上)、12/9 最高気温4℃(層)、12/11 エゾクロテン(層)、12/13 オジロワシ(層)、12/16 エゾシカ(層)、12/19 エゾモモンガ・オオアカゲラ(層)、12/21 キバシリ・ヤチネズミ(層)

*(黒)黒岳、(層)層雲峡、(上)上川町内

風物誌
カラマツ林の中に、仙人の杖のような立派なオオウバユリが立っていた。秋に飛ばしそびれたのが、雪のせた鞘の中には積み重ねられた種がまだそのまま納まっていた。
上手にいくこともあれば、ぼろぼろでないこともある。それでも種を時かねは始まらない。新しい年の空にどんな種を飛ばそうか。機を迷してはならない。